

令和7年度 第5回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和8年1月27日（火） 13時30分～

開催場所：備前市役所 3階 大会議室

出席委員：大東 正虎【ノートルダム清心女子大学 人間生活学部 人間生活学科 教授】

長崎 信行【備前市長】

畑下 昌代【備前市 市民生活部長】

花岡 茂明【岡山県タクシー協会 和気支部 副支部長】

雄島 仁 【日生交通有限会社 代表取締役】

橋本 恵正【備前市自治会連絡協議会 会長】

奥田 泰彦【備前市自治会連絡協議会 副会長】

延本 大作【備前市老人クラブ連合会 会長】

竹本美知子【備前市老人クラブ連合会 副会長】

宮地 亮平【中国運輸局 岡山運輸支局 首席運輸企画専門官】

中務 博文【岡山県備前県民局 東備地域管理課長】

析折 太介【西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社 地域交通課長】

代理出席 玉置 和樹

境野 百花【岡山県県民生活部 交通政策課 主幹】

服部 博昭【瀬戸内市 総合政策部 企画振興課長】

則枝日出樹【和気町 総務部 総務課長】

傍聴者あり

出席委員(代理出席含む) 15名

委任状提出委員 4名

事務局：出射 詩都【備前市 市民生活部 交通政策課長】

河上 洋之【備前市 市民生活部 交通政策課長代理】

下山 真 【備前市 市民生活部 交通政策課主事】

千田 博人【備前市営バス管理事務所 運行管理者】

1. 開会

2. 会長、副会長あいさつ

3. 協議事項

(1) 令和7年度備前市公共交通会議第1号補正予算について

事務局：資料に沿って説明

会長：説明について質問があるか。

委員：協議事項1についての質問無し

会長：承認してもらえるか。

委員：異議なし

4. 報告事項

(1) 備前市地域公共交通計画策定支援業務の進捗状況について

事務局：資料に沿って説明

会長：説明についての質問があるか。

委員：計画の期間について、上位計画である第3次備前市総合計画や備前市都市計画マスタープランに基づいて計画を作っていくと思いますが、第3次備前市総合計画の後期基本計画の計画期間が令和11年度までとなっており、備前市地域公共交通計画と達成目標等にずれを感じます。具体的にはP50に記載されている、目標値の市営バス及びデマンドタクシーの利用者12,000人について、第3次備前市総合計画では令和11年度の目標値として記載されています。このように整合性が取れない部分があると思います。4年間の計画ということであれば令和11年度の目標値として整合性が取れるのではないのでしょうか。

P15について前々回会議の時の資料からタイトルが「公共交通による人口カバー状況」へ変わっていますが、ここに示されているのはデマンドタクシーと市営バスの路線の運行区域と人口分布であり、広い意味での公費の公共交通による人口カバー状況ではないと思います。このタイトルは「市営バスとデマンドタクシーによる人口カバー率」とした方が適していると思います。

P21のデマンドタクシーの利用状況について、前々回の資料では利用時間帯や目的地までの到着時間のグラフがあったと思いますが、今回は無くなっており、わかりにくいので、P22の下部のスペースが空いているので、そこにグラフを入れるとわかりやすくなると思います。

P21の利用者数・実利用者数のコメントについて、「香登は実利用者数に対して1人あたりの利用回数が比較的多くなっている」という記載がありますが、「デマンドタクシーの地域別年間利用者数・実利用者数（令和6年度実績）」の表を見ると香登だけで

はなく伊里も多いと思います。

P36の(4)全計画の総括について「5年間で市の財政支出額は大幅な上昇が見られ」という記載があり、この財政支出がP30で解説されている公的支出と同じであるなら、公的支出について「令和4年度以降は、1億4千万円を超えて推移しており、近年は高止まりしています。」という分析をされているので大幅な上昇というのはどこを起点としているのかわかりません。そもそも備前市の公的支出額1億4千万円が高いのかどうかという議論がされていないと思います。同じような規模の自治体の中でこれだけの交通網を持っていて、その支出額が1億4千万円というのが高いのか、このような部分を議論しないと、バスやデマンドタクシーの運賃の値上げをする際の理論的な根拠につながらないと思います。これからも市営バスやデマンドタクシーの運賃の改定の検討をしていくことになると思いますが、運賃の値上げを住民に説明する際の理論的根拠がありません。大幅に増加しているという解説は本当に正しいのか再度検討していただきたいです。

P50の目標値の整合性について、公共交通の満足度に対して第3次備前市総合計画では令和11年度の目標値を25%と明記しているため、連携を取り合って調整してほしいです。

事務局：委員には事前に意見を伺っていただきましたので、修正できる部分については修正しております。第3次総合計画との整合性については、再度確認して3月に開催を予定している公共交通会議ではもう少し精度を高めたものをお示しできると思います。

今後のスケジュールとして本日いただいた意見を2月の1週目でまとめて、2月6日(金)から2週間程度パブリックコメントを実施し、パブリックコメントの意見の取りまとめを2月中に行います。3月上旬から中旬にかけて交通計画の策定に向け内容の精査を実施していく予定です。精査した上で再度皆様に確認していただき、策定できたらと思っております。本日いただいた意見の他に、誤字脱字等修正して次回交通会議でお示しさせていただければと思います。

量も多く計画案の確認が大変だと思いますので、2月2日(月)までの短い期間ではありますが、備前市地域公共交通計画策定に伴う意見として意見を受け付けます。様式についてはメールでも送らせていただきますし、メール環境にない方に関しては配布している用紙にて交通政策課に提出していただければと思います。

委員：P17の現状分析について「三国や神根等の山間部では、5km圏域にタクシー事業者が存在しておらず、他地域と比べてタクシーを利用しづらい状況にあります。」という記載があり、これは現状の問題点だと思いますが、それに加えてP23の交通事業者へのヒアリング結果には「行きはデマンドタクシー、帰りはタクシーを利用するパターンも多く見られる」という記載があり、更にP27の住民アンケート調査結果にも行きはデマンドタクシー、帰りはタクシーという記載があります。その上でP37の備前市が抱える地域交通の問題点の③持続可能性に「タクシーの縮小によって夜間の移動手段

不足やいざという時（緊急時等）の交通手段が不足している状態にある。」という記載があり、これが今の備前市の課題だと思えますが、P39の（2）備前市の目指す地域交通ネットワーク①交通軸の役割と対応する交通モードについて生活交通に該当する交通モードにタクシーが記載されていないことに疑問があります。タクシーは大事な移動手段として認識されていると思えますのでタクシーを加えた方がいいのではないのでしょうか。

P50の基本方針3：他分野との連携・利用促進による公共交通の価値向上について、評価指標の「運転免許証を持っていない人の公共交通を利用していない人の割合」はP48に記載してある施策とリンクしないのではないのでしょうか。高齢者や障害者への移動支援との連携という話であれば外出頻度等を目標に設定すべきではないかと思えます。施策に対する目標設定をリンクしてもらった方が今後施策を振り返った時に振り返りがしやすいのではないのでしょうか。

事務局：P39に関しては委員のご指摘の通りだと思えますので、修正したいと思えます。

評価指標の部分につきましても、再度評価指標のテーマを整合性が合うよう確認し、計画に反映できたらと思えます。

委員：P21の「デマンドタクシーの目的別利用状況（令和6年度実績）」の図に出てくるn値とは何を表しているのでしょうか。

事務局：これはデマンドタクシーの利用実績を集計したものなのでn値というのはデマンドタクシーの延べ利用者数です。

委員：香登の年間延べ利用者数が825人で実利用者数が163人ということは毎週利用する人もいれば、月1回程度しか利用しない人が結構いて利用に偏りがあることがわかるようになれば良いと思えます。現在は運転免許証を持っていない人が利用していますが、将来的には利用が増えてデマンドタクシーの状況では回らなくなるのではないのでしょうか。運賃のことを審議するよりは、このようなことを考えていかないといけないのではないのでしょうか。

P47の「《施策2-2》公共交通の担い手確保と運営基盤の強化」の主な事業内容に「住民ドライバーの活用」という記載がありますが、内容について説明をお願いします。

事務局：同じ人が利用しているのは他の地区からもご意見があり、また運行ルールについて勘違いしている方もいます。今月の広報に備前市デマンド予約センターが開設され電話番号が変わったという案内を折り込ませていただいております、問い合わせがあった方については、自分で乗降できるのであれば誰でも利用できるということをお伝えしています。今後、皆さんに使っていただけるように広報していくことが課題だと思っております。いただいたご意見の通り対策していければと思えます。

ドライバーの活用のご質問ですが、現在、個人の運転手が運転していただいている中で今後の方針も検討しておりますが、タクシー運転手が不足している現状を踏まえて、2種免許を持っていない方でも、法的な講習を受講すれば自家用有償旅客運送の

範囲内で運転できるという制度があります。その講習を受講された方を運行事業者の管理の下で運行業務をしていただき、担い手不足を解消できればと思い記載しております。

会 長：令和12年度の目標の人数というのは人口減少も考慮した上での人数で良いでしょうか。

事 務 局：第3次備前市総合計画に合わせようと思っていましたが、本計画と1年差違がありますので、精査して再度目標値を設定させていただきます。

会 長：再度目を通していただき、理解できない部分など忌憚のない意見として事務局に届けてほしいと思います。それを踏まえて多くの人にわかりやすいものになることを望みます。2月2日（月）まで意見を受け付けます。事務局から「備前市公共交通策定に伴う意見」という様式をメールで送付しますので返信をお願いします。メール環境がない方には紙にて交通政策課へ提出をお願いします。

5. その他

事 務 局：広報びぜんに折込むチラシを配布し2月2日から開始するデマンドタクシー配車システムおよび備前市デマンド予約センターについてお知らせ。また次回の公共交通会議を3月上旬に開催する予定であることをお知らせ。

6. 閉会（副会長あいさつ）